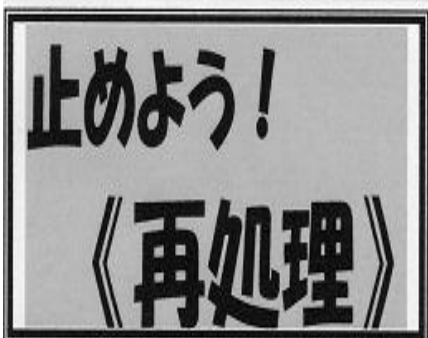


**三陸の海を放射能から守る
岩手の会**

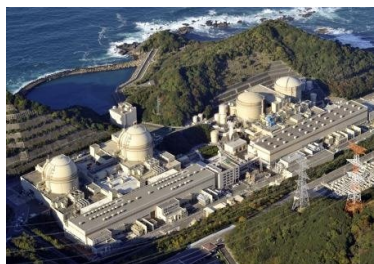
郵便振替 02240-5-102650
ホームページ《再処理/岩手の環境》
http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm
《まった再処理分庫》
http://briefcase.vahoo.co.jp/kimag



《天恵の海》

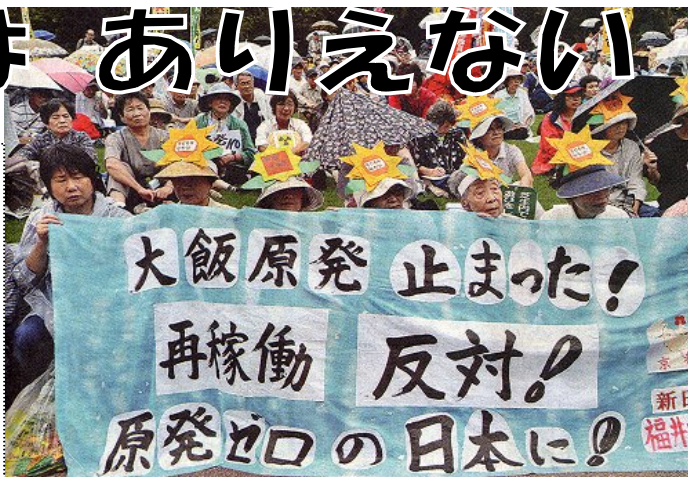
2013(平成25)年
10月2日
第132号
編集事務局 S.Oshida
TEL・FAX 019-623-1636

**再び原発稼働《ゼロ》へ
再稼働は あいえない**



大飯原発 (福井県)
3号機 9月 3日 停止
4号機 9月15日 停止

福井市中央公園・東京新聞



**政府は安全確保の直接施策を!
まず事故責任者の引責を!**

原発で利益を得てきた勢力のねらい
責任を取らず、原発再稼働に狂奔する原発推進勢力は何を狙っているのか? それは、計り知れない危険性を満天下に示した原発・核施設が途方もない『不良債権』であることを隠すためにほかなりません。原発を無理に動かすこと

九月一五日、唯一動いていた大飯原発四号機が止まりました。これで日本の原発稼働はゼロとなり、昨年こどもの日の五月五日から五日間の「原発稼働ゼロ」を引き継いで、「放射能が減衰してゆく日本」が回復しました。
原発が生み出すものは浪費経済と差別、そして計り知れない危険です。
昨年の夏、国会を二〇万人の人波で取り囲んで以来、『原発反対』を叫び安全を求める市民の力が今、更に前進しようとしています。

九月一四日には東京都亀戸公園で九千人を集めて「再稼働反対! さようなら原発大集会」が開催されました。集会で

「週刊エコノミスト」(9/24)で古賀茂明氏(元経産省官僚)は、東京電力は事故後「メガバンク」から二兆円の無担保融資を受け、昨年度から一兆円の抛出を受けた。今後、十月と十一月に大規模な借り換えと新規融資を予定しているが、東電の収支は悪化する一方。東電に、このままずると国の資金を投入するのではなく、原発事故を起こした経営責任を取らせ、会社更生法などによりきちんと破綻処理すべき。そうすれば、発送電分離を含む電力システム改革が見えてくる、と述べています。

によって未だに価値があるように見せかけようとしています。国民の気がつかないうちに税金投入や電気料金値上げにより破綻を回避しようという画策をしています。事故の責任を明確にしたうえで改革を!

- 各地で再稼働反対集会
- 十一月九日(土) 仙台弁護士会館
- 十一月十日(日) 川内・玄海原発再稼働阻止九州集会・デモ
- 十一月一日(日) 伊方原発阻止集会とデモ

- 十月六日(日) 反核秋の大行動
- 十月一三日(日) ノーニクスステイ
- 十月一三日(日) 原発ゼロ・統一行動日
- 十月一三日(日) 日比谷公園・国会前
- 十一月九日(土) みやぎアクション
- 十一月十日(日) 仙台弁護士会館
- 十一月十日(日) 川内・玄海原発再稼働阻止九州集会・デモ
- 十一月一日(日) 伊方原発阻止集会とデモ

は大江健三郎さんや鎌田慧さん、福島事故からの避難者が強く再稼働反対を訴えました。
一五日には、福井市中央公園に約八百人が集まり「もう動かすな原発!」集会が開催されました。「原発は何もかも一度に奪っちゃった」という福島からの避難者の詩が朗読され、主催者の中野哲演任職(小浜市明通寺)の挨拶に続き、宇宙飛行士秋山豊寛さん、作家の広瀬隆さんの訴えがあり、更に参加者三十七人のスピーチがありました。

地震列島に1万7千トンの使用済み核燃料

日本の使用済み核燃料保有高 2013. 9

施設	呼称	出力	容量	貯蔵量	貯蔵率
		万KW	トン	トン	
原発	泊	207	1,000	400	40.0%
	東通	110	440	100	22.7%
	女川	217.4	790	420	53.2%
	福島第一	188.4	2,100	1,960	93.3%
	福島第二	440	1,360	1,120	82.4%
	東海第二	110	440	370	84.1%
	浜岡	361.7	1,740	1,140	65.5%
	柏崎刈羽	821.2	2,910	2,380	81.8%
	志賀	189.8	690	160	23.2%
	敦賀	151.7	860	580	67.4%
	美浜	166.6	680	390	57.4%
	高浜	399.2	1,730	1,160	67.1%
	大飯	471	2,020	1,430	70.8%
	島根	128	600	390	65.0%
	伊方	202.2	940	610	64.9%
玄海	347.8	1,070	870	81.3%	
川内	178	1,290	890	69.0%	
再処理	六ヶ所	発電せず	3,000	2,945	98.2%
合計			23,660	17,315	73.2%

*このほかに 高レベル放射性廃液が
六ヶ所再処理工場に202m3 東海再処理工場に394m3

「社会実情データ図録」から作成
<http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/4110.html>

冷却喪失で暴走しない施策を！ 六ヶ所集中は許さない！

昨年七月、当時の野田内閣と関西電力は、せっかく実現した「原発稼働ゼロ」日本の安全への「第一歩」を振り捨て、大飯原発をしゃにむに動かしました。しかし、計算してみるとたった約四千億円の売上のために新たに二〇〇トンもの『核の危険なゴミ』、使用済み核燃料を生み出してしまいました。

この『核のゴミ』は既に約一七〇〇〇トンも日本中に溜まってしまっています。原発を動かすこと自体が危険ですが、この『核のゴミ』

原子炉から出された後の『核のゴミ』は強力な放射線を発し崩壊熱を出します。だから水で冷やし続けねば高熱で溶融します。この水が循環ポンプの電源喪失で途絶えたり、漏れたりすれば冷却できず、福島原発四号機プールのように、重大な危機に陥ります。使用済み核燃料プールには格納容器のような防護施設も何もありません。この使用済み核燃料一七千トンの分散、恒久的安全対策を行うことが日本を救う急務です。

再稼働どころか その危険の認識を！

Before



*ウラン採掘、精製にはたくさんの被曝労働と膨大な資金。

使用前の核燃料ペレット

- 適正防護で手で持てる
- ペレットの中身は
ウラン 235が 約3%
ウラン 238が 約97%
- ウラン235 約800gで
広島原爆1発分



核燃料棒。

- ペレット状のウランが入っている。原発の型式で異なるが、例えば長さ3.6m。約225本の束(集合体)。
- 100万キロ級原発では 約百トンの核燃料集合体が装荷される。



《原子炉で核分裂》

1日で 原爆3個分の核生成物(死の灰)
1日の 発電量 100万Kw×24時間



After



使用済み核燃料。

- 人が近づけない危険物。
- 燃え残り燃料棒の中身は
ウラン 238が 約95%
ウラン 235が 約1%
プルトニウムが 約1%
残り 約3%はセシウムやストロンチウムなど核生成物
- 放射線と崩壊熱を発生する物質となり、冷却水を循環させ冷やし続けなければ高熱を発生しメルトダウンに至る。

計算してみよう

○生産した電力

大飯原発出力118万kw ×2機 =236万kw
236万kw×24時間×365日=207億kwh
1kwhを20円として (実際には送電ロスなどあり)
(業務用と家庭用では価格が異なるが、例えば)

20円×207億キロワットアワー⇒4134億円

○生み出した危険物

使用済み核燃料(核生成物・死の灰)を
2機で約200トン

は非常に危険です。